

# 桜川

第11号



## 市議会だより

平成20年5月1日



～山の風景シリーズ No.2～

### 雨巻山の山桜・・・門毛地区

雨巻山の中腹には、美しい山桜が自生しています。その美しさに気づいた市民の皆さんが山桜の里づくりを進めています。

もくじ

### 平成20年度予算を可決

大綱質疑 …… 2～5

8名が登壇、一般質問 …… 10～13

### 私のメッセージ



#### 「生きるということ」

岩渕のぶ子さん (64歳)  
桜川市真壁町原方 1205-2

「このままでは死ぬのを待っているだけです。思い切って手術をしましょう。しかし、14歳の身体では、手術に耐えられるかどうか…… 成功率は8対2、成功が10のうち2割です」

「……………」

死の淵より奇蹟的に生還して、50年がたちました。難しい病気を治していただいた上、病気がかりで全く無学の私を一人前の看護師として育てていただいた元延島病院の故延島市郎院長先生、故一副院長先生には大変お世話になりました。心から感謝しております。

私が発病した当時は肺結核が猛威を振るい、だれもが恐れ嫌われた時代でした。私は肺結核と間違われ、私の家族も大変つらい思いをしました。7年間という長い闘病生活は小学中学のときでしたが、とても勉強どころではありませんでした。病気が治ったころ、同級生は既に高校生あるいは社会人として立派に働いていました。私もいざ社会に出てみると、知識も学問も必要であることに気づきました。住み込みで働きながら夢中で勉強し、高校受験の方にも教えていただいて中学校の認定試験を受け、看護学校に入学し、2年後念願の准看護師の資格を得ました。遠い回り道をしましたが、今は夢のようです。長い人生の中でだれでも苦しくつらいときもあると思いますが、どんなに苦しいときであっても自分から逃げないでください。自分をあきらめないでください。頑張る気力があればいつかは夢が叶えられるはずですよ。

私は看護師となって人のために働けることを喜び、生かされていることに感謝しながら、今も老人ホームで働いています。



#### 「山から学んだ心の豊かさ」

稲川 好子さん (66歳)  
桜川市富士見台 2-3

私六十路の中半、年齢とともにチャレンジ、好奇心、達成感等々が希薄になりつつあります。「まあいいや!!」で済ませることが多くなってきます。そんなときに出会ったのが山でした。日常では味わえない心の豊かさを教えてくれました。

登頂したときの見渡す限りの青い空、360度の大自然。濃霧と強風でなかなか一歩が出なかったときの登頂の喜びと汗と涙。延々と歩いた岩場でこんこんと湧き出す水を口いっぱい含んだときの感動、水のありがたさを忘れることはないでしょう。寒風の中たどり着いた小屋での熱いお茶の一杯が五臓六腑にしみわたる心地よさ。強風に耐えて岩陰にひっそりと咲いている色鮮やかなかわいい草花。目の前に広がる真紅の燃えるような紅葉。うっすらと雪化粧をした木々の緑と紅。雪渓にえさを求めてたくましく生きるライ鳥の親子連れ。足をとめて「ガンバッテね」と声をかける等々、たくさんの感動をもらった山々、登頂したときの達成感、満足感、水や物の大切さを得た山、思い出をくれた山。

成長していく子どもたち、どんな小さなことでもいい、自分なりにたくさんのチャレンジをしたり、好奇心を持ったりしてほしい。そんな中に感動や達成感、満足感、物の大切さ、人との出会い、思いやり、ゆずり合い、あいさつの心地よさなど感じ学んでほしいと願っています。

私は山との出会いにいろいろなことを学ばせてもらい、たくさんの感動や思い出は私なりの心の豊かさとなり、私の心の宝となった気がします。



議長 小林 正紀

#### 議会広報特別委員会

委員長 仙波 信綱

副委員長 菊池 節子

委員 相田 一良

” 岩見 正純

” 勝田 道雄

” 風野 和視

春、新しい芽、新緑の季節を迎えた今、平成二十年第一回定例会を終え、桜川市二十年定例会を可決し、新しい年度がスタートしました。美しい新緑とともに、大きなランドセルを背負った小学一年生、少し大きめの制服を着た中学一年生、その後姿を見るたびとてもいとおしく思います。そのいとおしい子どもたちが、桜川市の新しい芽であり人財(宝)です。桜川市の宝の芽(子どもたち)が健やかに大きく育ち、将来の桜川市を立派に背負って立つ人財(宝)に成長していただきたいと願っています。そのためにも今が、桜川市の頑張りどころです。桜川市が頑張るためには議会はもちろんのこと、主役(市民)の皆様も本音の声を大きく発音して、皆様の声が行政に反映してこそ、桜川市の繁栄があります。どうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

編集後記



風野和視